

表1 沿革

| 年月 | 内容 |
|-----------|---|
| 2004年 5月 | 和歌山大学防災研究教育プロジェクトを発足 |
| 2010年 4月 | 和歌山大学防災研究教育センターを設置 |
| 8月 | 防災ジュニアリーダー育成講座（紀の川市）の支援を開始（～2014年） |
| 8月 | 高校生防災スクール（和歌山県）の支援を開始（～2012年） |
| 8月 | 紀の国防災人づくり塾（和歌山県）の支援を開始（～2013年） |
| 9月 | 「あらかわ防災ステーション」（企画監修）が内閣総理大臣表彰を受賞 |
| 11月 | センター開設記念フォーラム開催 |
| 2011年 3月 | 東日本大震災発災により和歌山大学震災支援対策本部を設置 |
| 6月 | 東日本大震災支援活動・調査報告会を開催 |
| 8月 | 岩手県へ災害ボランティアバスを運行開始（～2014年） |
| 9月 | 紀伊半島豪雨災害支援対策本部を設置 |
| 9月 | 新宮市熊野川町へ災害ボランティアバスを運行 |
| 11月 | 東日本大震災・紀伊半島豪雨災害ボランティア活動報告会・写真展開催 |
| 12月 | 和歌山大学学生調査員による台風12号災害に関する調査を実施 |
| 12月 | 紀伊半島大水害の浸水・土砂災害調査報告会開催 |
| 2012年 4月 | 中途失聴・難聴者協会防災講座支援を開始 |
| 6月 | 防災啓発活動用映像DVD「3.11メッセージ」制作、防災ソング「ねぼすけなまず」等制作 |
| 12月 | シンポジウム「紀伊半島大水害の経験を踏まえ、これからの地域防災を考える」開催 |
| 2013年 6月 | 和歌山大学式避難所パーティション実用新案登録（実用新案登録第3184573号） |
| 2014年 1月 | シンポジウム「紀伊半島和歌山県のこれからの災害をイメージする」開催 |
| 4月 | 連続講義「ポスト3.11の思考と前進」（全10回）を開講 |
| 5月 | 国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定を締結 |
| 2015年 1月 | シンポジウム「人口減少地域での防災対策、持続可能な地域づくりについて」を開催 |
| 3月 | 大規模土砂災害に係る技術、研究開発及び教育の発展を目的とした連携・協力協定を国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、那智勝浦町を含む9者により締結 |
| 6月 | ワダイの防災ジオツアーを開始（～現在継続中） |
| 7月 | 紀伊半島大水害に関する研究成果報告会を開催 |
| 2016年 4月 | 防災研究教育センターと宇宙教育研究所を統合し、災害科学教育研究センターに改組 |
| 9月 | ワダイの防災カフェを開始（～2018年） |
| 12月 | シンポジウム「災害時における情報流通～被災地の情報を如何に入手するか、如何に伝えるか～」開催 |
| 2017年 10月 | 防災士養成プログラムを開始（～現在継続中） |
| 11月 | シンポジウム「鉄道乗車中の津波避難と地域との訓練」開催 |
| 2018年 3月 | 世界津波の日関連事業「地震津波シンポジウム」開催 |
| 4月 | 国立大学法人お茶の水女子大学と連携及び協力に関する協定を締結 |
| 10月 | シンポジウム「災害後の復旧・復興へ～学校・地域と大学がともにできること～」開催 |
| 2019年 3月 | 和歌山県内災害発生に備えた連絡連携に関する協定を県内放送事業者等9者により締結 |
| 11月 | 長野市千曲川洪水災害ボランティアモニター調査を実施 |
| 11月 | シンポジウム「紀伊半島電網～少子高齢化／人口減少に対応した国土保全～」開催 |
| 12月 | 長野市へ災害ボランティアバスを運行 |
| 2020年 1月 | 長野市災害ボランティア報告会を開催 |
| 4月 | 紀伊半島価値共創基幹設置に伴い、災害科学・レジリエンス共創センターに改称 |
| 11月 | シンポジウム「災害対応と地域振興を結合する防災イノベーション」開催 |
| 12月 | 学生ボランティア活動推進に関する協定を日本財団学生ボランティアセンターと締結 |
| 2021年 3月 | 災害ボランティア活動支援に関する協定を和歌山県社会福祉協議会と締結 |
| 3月 | 和歌山大学災害ボランティアステーション（むすぼら）を設置 |
| 10月 | 六十谷水管橋破損に伴う大規模断水時にむすぼらを中心に給水ボランティアとして活動 |
| 11月 | シンポジウム「これからの災害ボランティア・地域の支え合い」開催 |